LG
Life's Good

取扱説明書
LED 液晶モニター

このたびは LG 製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ
正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

34UC79G

*LG の液晶モニターは LED バックライトを採用した LCD 製品です。

www.lg.com

日本語

目次

ライセンス ---------- 3

設置する ---------- 4

- 付属品を確認する ---------- 4
- サポートされているドライバーとソフトウェア- 5
- 各部の名称と基本操作 ---------- 6
  OSDジョイスティックの使用方法
  出入力端子
- 持ち運びのご注意 ---------- 8
- モニターを設置する ---------- 9
  スタンドを組み立てる
  テーブルに設置する
  スタンドの高さの調整
  角度の調整
  ケーブルの整理方法
  ケンジントン(Kensington)ロック
  スタンド本体の取り外し
  壁掛け金具を取り付ける
  壁への取り付け

モニターの接続---------- 15

- PCに接続する ---------- 16
  HDMI接続
  DisplayPort接続
- AV機器に接続する ---------- 17
  HDMI接続
- 周辺機器の接続---------- 17
  USBケーブル接続
  ヘッドホンを接続する
  外部スピーカーの接続

詳細設定---------- 19

- メインメニューの表示 ---------- 19
  ナビゲーションOSDの機能
- ユーザー設定---------- 20
  OSDメニュー
  クイック設定
  入力
  画質
  全般

困ったとき ---------- 29

仕様---------- 31

- 工場サポートモード---------- 32
- HDMIタイミング(映像)---------- 32
- 電源LED ---------- 32

ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。 ライセンスの詳細については、*www.lg.com*を参照してください。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

VESA、VESAロゴ、DisplayPortコンプライアンスロゴおよびデュアルモードソース用のDisplayPortコンプライアンスロゴは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。

The SuperSpeed USB Trident logo is a registered trademark of USB Implementers Forum, Inc.

下記の規定は、欧州市場で販売されているものに限り、ERP指令に対応できるモニターに適用します。
*このモニターはオンにした後モニターの操作がなかった場合、4 時間後に自動的にオフになります。
*この設定を無効にするには、OSDメニューで[自動スタンバイ]を[オフ] にしてください。

設置する

付属品を確認する

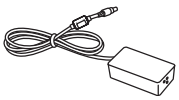
製品を使用する前に、すべての付属品が揃っているか確認してください。万が一、付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。
本取扱説明書は日本で発売する製品を前提に作成されています。日本以外でお求めの場合、製品型番、製品の仕様、付属品等が異なることがあります。



CD-ROM(取扱説明書 / ソフトウェア収録) および各種カード



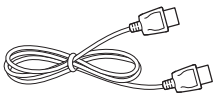
電源コード



AC-DC アダプタ



HDMI ケーブル



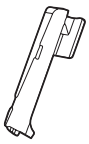
DisplayPort ケーブル



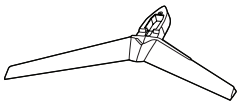
ケーブルホルダー



マウスホルダー



スタンドネック



スタンドベース

注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- LG が推奨していない汎用ケーブルを使用すると、画面が写らなかったり画像にノイズが発生したりする場合があります。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象外になります。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

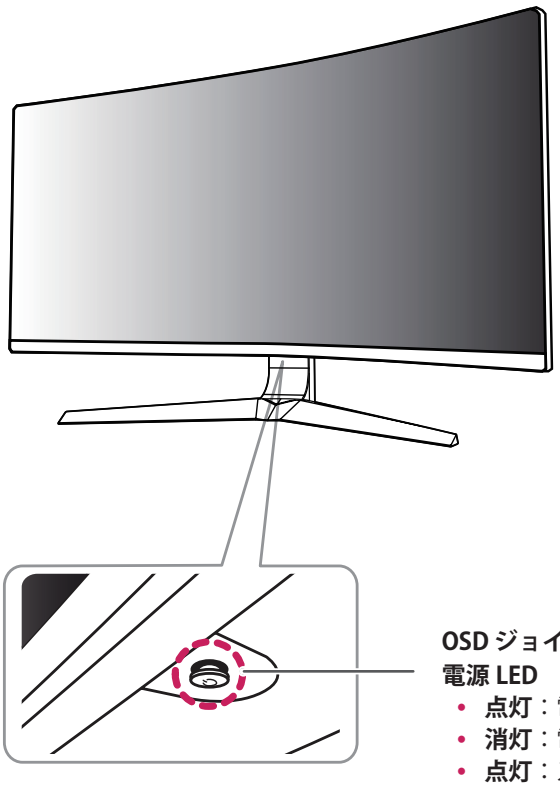
本製品は LG エレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することが出来ます。
ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位	34UC79G
モニタードライバー	推奨	O
ASM ドライバー	必須	X
OnScreen Control	推奨	O
Dual Controller	オプション	O
True Color Pro	オプション	X

① LG エレクトロニクスのホームページ (*www.lg.com*) にアクセスします。
② ページ最上部の [サポート] から [ソフトウェアダウンロード] をクリックします。
③ [モデル番号を入力してください。] に、モデル番号 (製品の型番) を入力します。
④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用している OS をご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ (*www.lg.com*) のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

各部の名称と基本操作

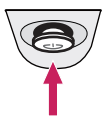


OSD ジョイスティック
電源 LED
- **点灯**：電源オン
- **消灯**：電源オフ
- **点灯**：スタンバイ

OSD ジョイスティックの使用方法

OSD ジョイスティックを指で押したり、上下左右に動かすことで各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

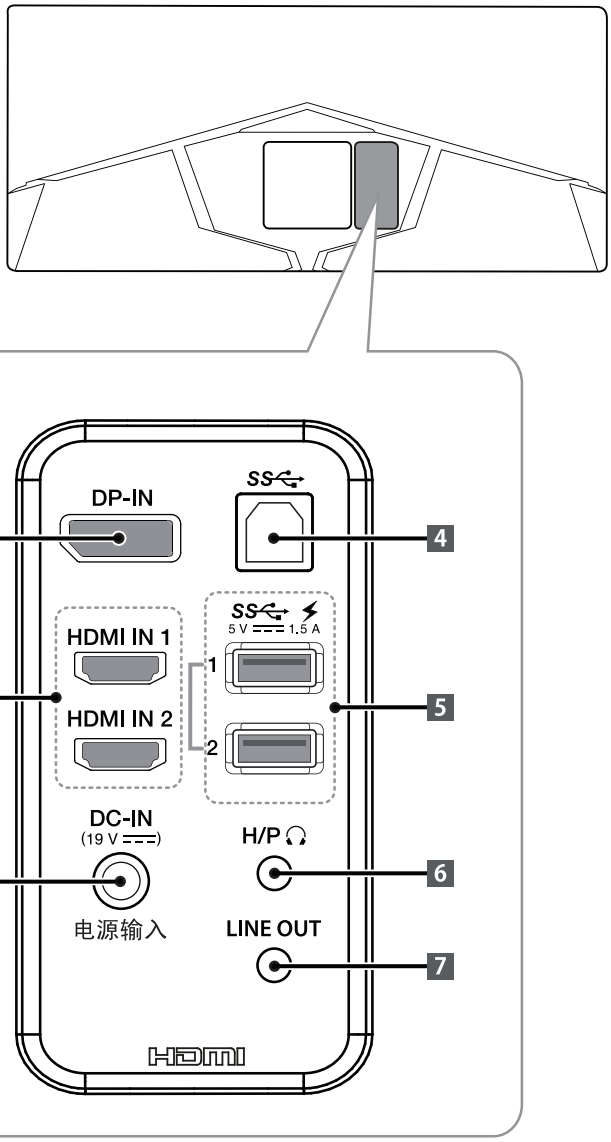
		**電源オン**	OSD ジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSD ジョイスティックを指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◄/►	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

ヒント

- OSD ジョイスティックはモニターの底面に付いています。
- OSD：On Screen Display(オンスクリーンディスプレイ)

出入力端子

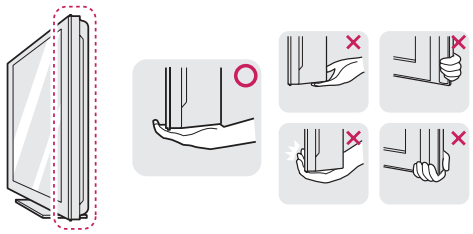
1 DisplayPort 入力端子
2 HDMI 入力端子
3 DC-IN コネクタ (電源)
4 USB3.0 アップストリーム端子
5 USB3.0 ダウンストリーム端子
6 ヘッドホン端子
7 ライン出力端子



持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げる際は 、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかり持ってください。パネルを直接つかまないでください。





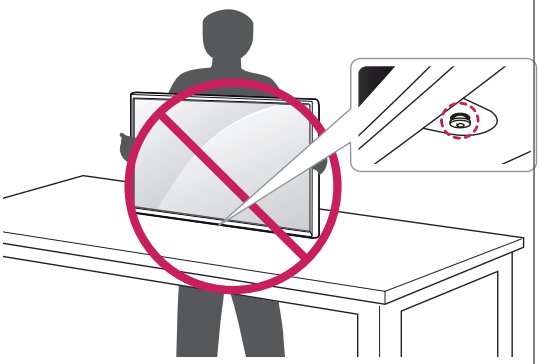
- モニターを持つ場合、 画面に触れないようモニターの背面を身体側にして持ち、 画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶ際は、モニターに衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

⚠ 注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。



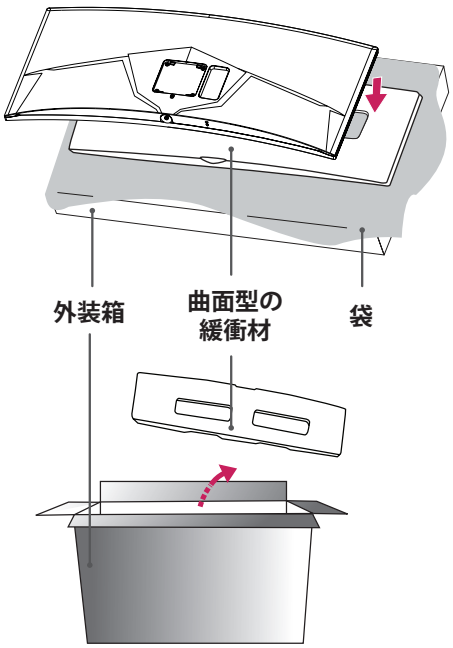
- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターが倒れるおそれがあり、モニターの損傷またはケガの原因となります。 また、OSD ジョイスティックが破損するおそれがあります。



モニターを設置する

スタンドを組み立てる

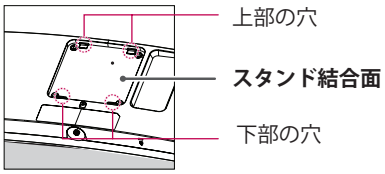
1 外装箱とモニターの梱包に使用されている袋、曲面型の緩衝材を下のイラストのように置き、その上にモニターを置きます。
モニターは、画面を下に向けて緩衝材の上に置きます。

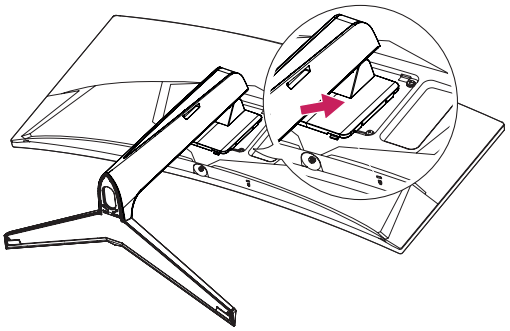


2 最初にスタンドベースにケーブルホルダーを取り付けます。
スタンドネックにスタンドベースを取り付けて、スタンドベース底面のネジをコインまたは手回しで時計回りに締めて固定します。



3 モニターに**スタンド**を取り付けます。
下のイラストのように、まず**スタンド**を斜めに傾けて、**スタンド結合面**の上部の穴と**スタンド**上部のツメを合わます。

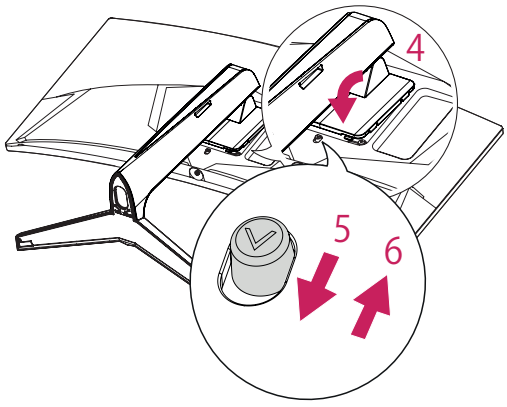




4 **スタンド結合面**上部の穴に**スタンド**のツメが入ったことを確認して、**スタンド**がモニターと平行になるようにして、**スタンド結合面**下部の穴に、**スタンド**下部のツメを合わせます。

5 下部のツメを入れる過程で**スタンド結合面の下にあるボタン**が一度下がります。

6 ツメがしっかりと入ると、ボタンが元の位置に戻ってスタンドが固定されます。

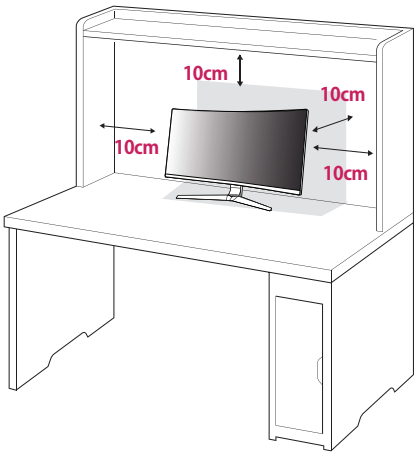


注意

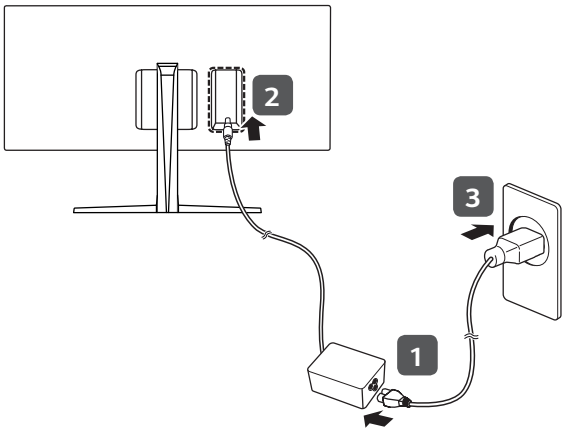
- **実際の製品はイラストと異なる場合があります。**
- モニターの組み立ての際は、製品の破損やケガに 十分に注意して作業してください。
- ネジを締めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがスタンドから外れて落下し、モニターの損傷やケガをするおそれがあります。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニター画面には触れないでください。 液晶パネルが破損する場合があります。 スタンドまたはフレーム部分をつかんでください。

テーブルに設置する

1 モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、壁から 10cm 以上離して設置してください。



2 モニター本体に AC/DC アダプタを接続して、AC/DC アダプタと電源コードをつないで電源プラグをコンセントに差し込みます。

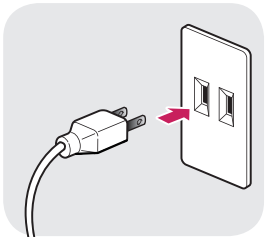


3 モニター本体下部の OSD ジョイスティックを押して電源をオンにします。

⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電するおそれがあります。

電源コードの接続に関する注意事項

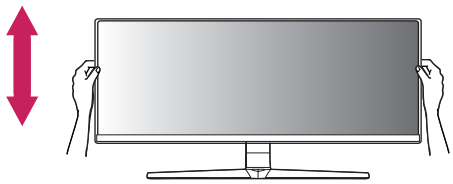


- 電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用して下さい。指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品パッケージ付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

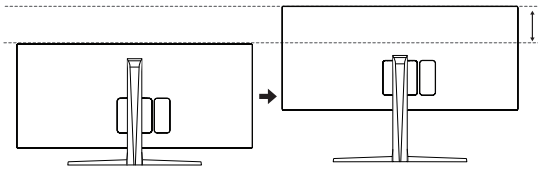
スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。

2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



最長 120.0 mm



注意



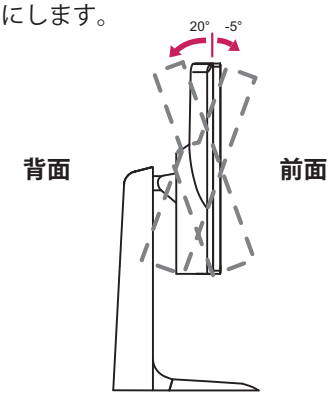
- 画面の高さを調整するときに、画面とスタンドベースの間に手を置くと、はさんでケガをするおそれがあります。スタンドベースの上に手を置かないようにしてください。

角度の調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。

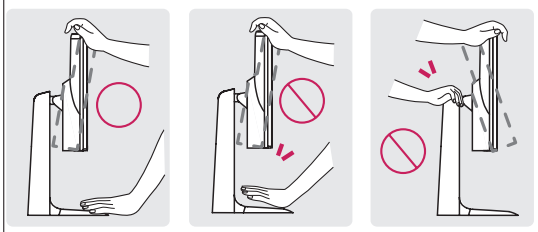
2 画面の角度を調整します。

画面を前後 (-5 度から +20 度) に調整して、見やすい角度にします。

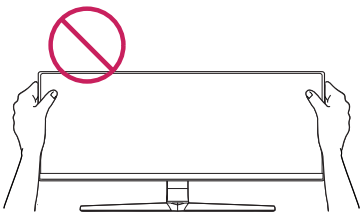


注意

- 角度を調整するときに、図のようにモニターフレームの下部をつかまないでください。指をはさむ恐れがあります。

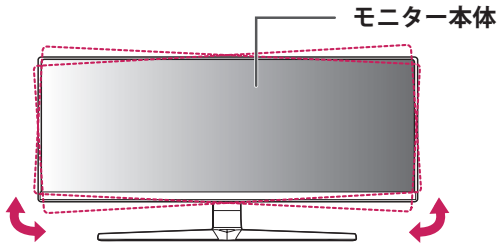


- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整してください。画面のパネルには触れないようにしてください。



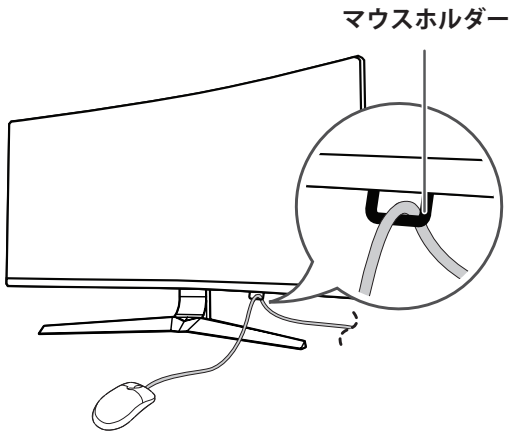
ヒント

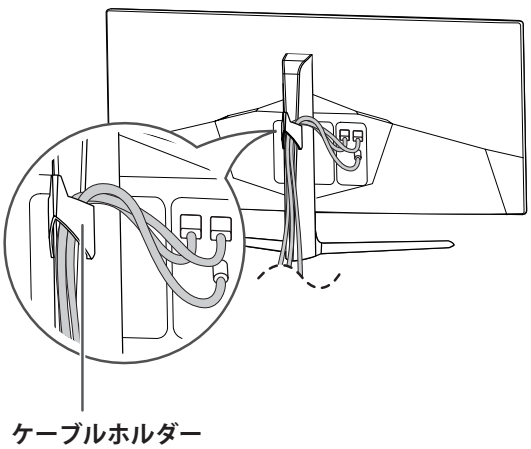
- モニターヘッドの左側または右側が少し（3°まで）上下に回転させたりすることができます。画面が水平になるように調整します。



ケーブルの整理方法

図のようにケーブルホルダーおよびマウスホルダーでケーブル類をまとめることをお勧めします。

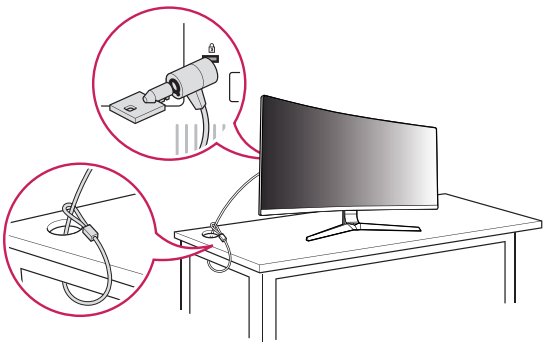




ケンジントン（Kensington) ロック

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底部にあります。
取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社の Web サイト（http://www.kensington.com）をご覧ください。

ケンジントンセキュリティーシステムケーブルを使用してモニターをテーブルに固定します。



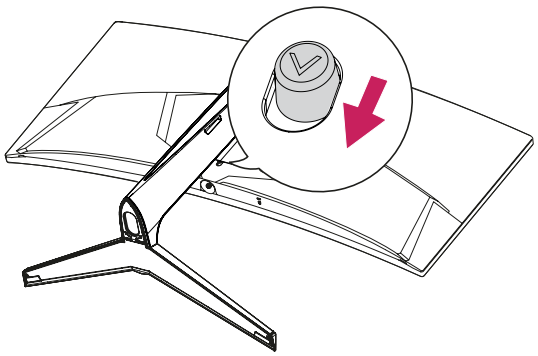
ヒント

- ケンジントンロックのお求めは最寄りの PC ショップや家電量販店にお問い合わせください。

スタンド本体の取り外し

1 モニターの画面を下に向けて置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いて作業してください。

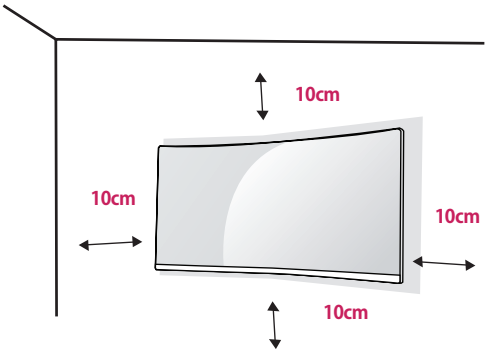
2 モニター背面の底部中央にあるボタンを押して、モニターをスタンドから取り外します。



- スタンドの解体については、組み立ての手順 (9 ページ) を逆に行ってください。

壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10cm 以上の空間を空けて設置してください。 設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



壁掛け金具を取り付ける

壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。

1 画面を下向きにして置きます。 画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
2 モニターの背面に取り付けられている 4 本のネジを取り外します。
3 モニターの上に壁掛け用プレートを置き、ネジ穴を合わせます。
4 ネジ (4 箇所) を時計回りに締めて、壁掛け金具をモニターの背面に固定します。

ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジは標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。

モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具 (別売) をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 適合しないネジを使用すると、モニターの内部が損傷するおそれがあります。
2 VESA 規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。

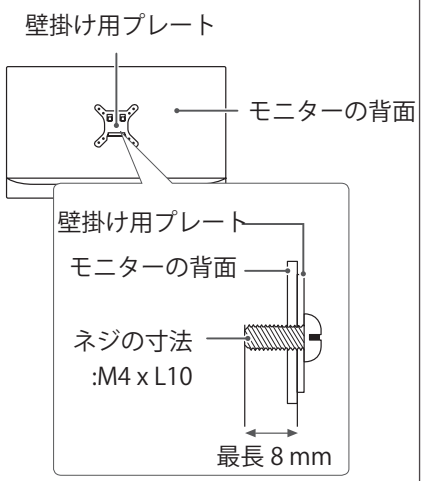
壁掛け（mm）	100 x 100
標準ネジ	M4 x L10
ネジの本数	4

ヒント

- VESA規格に定められたネジを使用してください。
- 壁掛け用金具には、設置説明書と設置に必要な部品が付属されています。
- 壁掛け金具は別売品です。 金具のご購入は、ＰＣ専門店や家電量販店などへお問い合わせください。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。 適切な種類と長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。

注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。外さずに移動したり設置したりしようとすると落下して怪我や感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大な怪我をする恐れがあります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが破損するおそれがあります。過度な締め付け等による破損については、保証の対象外になります。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具、ネジを使用してください。不適切な部品の使用や誤った使用方法による破損は保証の対象外になります。
- モニターのネジ穴の深さは8 mmです。



モニターの接続

OSD ジョイスティックを押し、**[Menu]** → **[入力]** の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

注意

- 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

ヒント

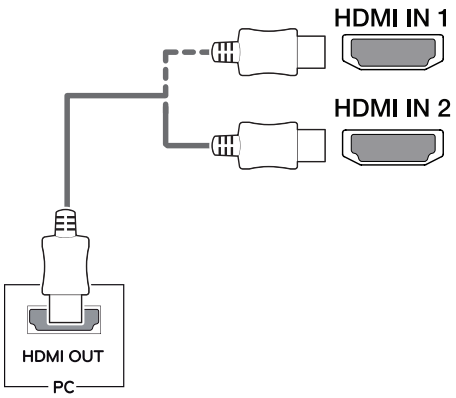
- 電源コードをコンセントに接続する際には、 アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、 これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PC に接続する

本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI 接続

PC とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。

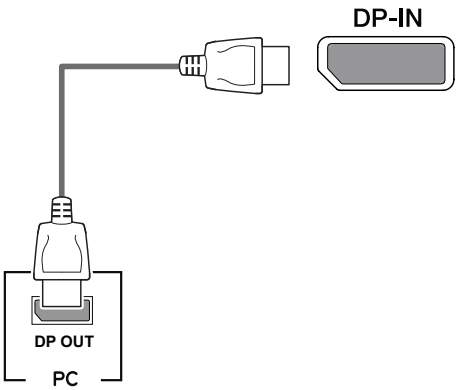


ヒント

- 付属の HDMI ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- PC を HDMI で接続したときは、画面の解像度や画面サイズが正常に表示されないことがあります。
- PC を HDMI で接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをお使いください。HDMI Licensing LLC で認証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
  推奨の HDMI ケーブルのタイプ
  - ハイスピード HDMI ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル
- DVI-HDMI や DisplayPort-HDMI などの変換ケーブルや変換コネクタを使用した場合、互換性に問題が発生する場合があります。

DisplayPort 接続

PC とモニターを DisplayPort 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを DisplayPort ケーブルで接続します。



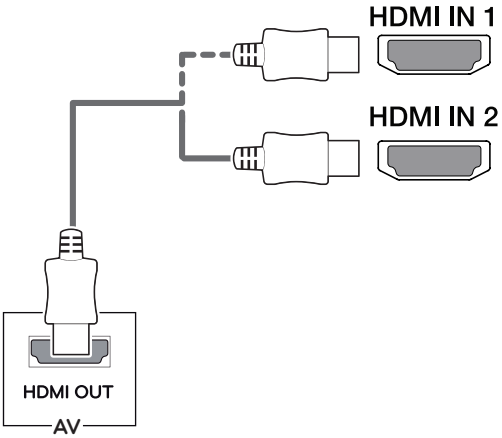
ヒント

- PC やグラフィックカードの DisplayPort のバージョンによっては、 ビデオ出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 付属の DisplayPort ケーブルを使用してください。 それ以外のケーブルを使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- DisplayPort-Mini DisplayPort ケーブルを使用する場合は、DisplayPort1.2 に対応したケーブルを使用してください。

AV 機器に接続する

HDMI 接続

AV 機器とモニターを HDMI 端子でデジタル接続します。下のイラストのように、PC とモニターを HDMI ケーブルで接続します。



ヒント

- 付属の HDMI ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用すると、誤作動の原因になることがあります。
- PC を HDMI で接続した場合、まれに互換性の問題が発生することがあります。
- ケーブルは、HDMI ロゴ付きのものをお使いください。HDMI Licensing LLC で認証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。

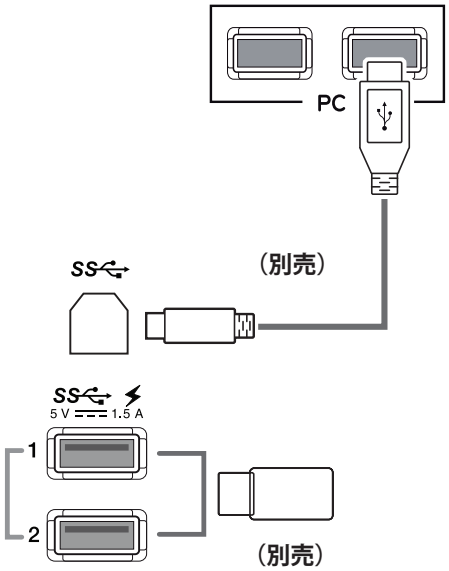
推奨の HDMI ケーブルのタイプ
- ハイスピード HDMI ケーブル
- イーサネット対応ハイスピード HDMI ケーブル

- DVI-HDMI や DisplayPort-HDMI などの変換ケーブルや変換コネクタを使用した場合、互換性に問題が発生する場合があります。

周辺機器の接続

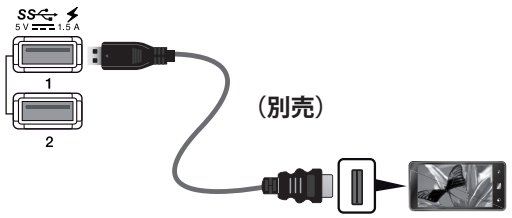
USB ケーブル接続

製品の USB ポートは、USB ハブとして機能します。USB 3.0 を使用する場合は、本製品の A - B タイプ USB 3.0 ケーブルを PC に接続します。
USB IN ポートに接続された周辺機器を PC から操作できます。



ヒント

- 製品を使用する前に、最新の Windows OS サービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 接続可能な USB デバイスは別売りです。
- キーボード、マウス、USB デバイスなどを USB ダウンストリーム端子に接続できます。
- **USB クイック充電**は USB1 と USB2 ポートで利用可能です。
- モニターの電源をオフにした場合、**USB クイック充電**は使用できません。
- 充電速度は接続機器によって異なります。



注意

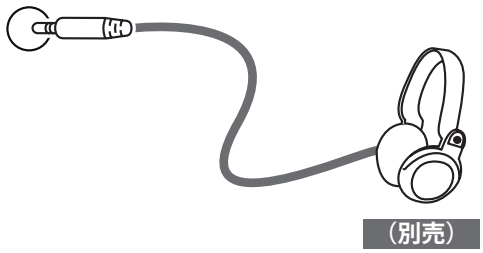
USB デバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされている USB デバイスや独自のドライバーを使用する USB デバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- すべての USB デバイスの動作を保証するものではありません。
- 電源のある USB ハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USB デバイスが正しく認識されないことがあります）。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子 (ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホンなどを接続できます。

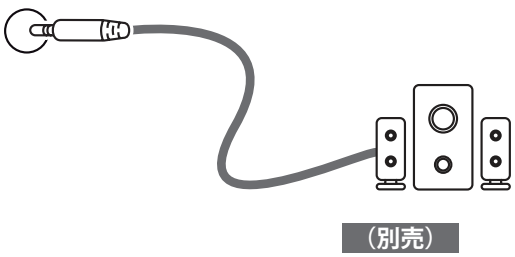
H/P



外部スピーカーの接続

ライン出力端子に外部スピーカーなどを接続します。

LINE OUT



ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L 字型になっているコネクタの場合、モニターに当たり差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ



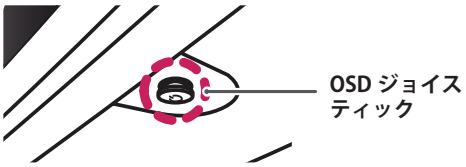
ストレート タイプ

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

詳細設定

メインメニューの表示

1 モニターの底面にある OSD ジョイスティックを押します。
2 OSD ジョイスティックを前後（▲/▼）、左右（◀/▶）に倒して各種設定を行います。
3 OSD ジョイスティックをもう一度押すとナビゲーション OSD が終了します。



ボタン	メニューの状態		説明
	**ナビゲーション OSD 非表示時**		ナビゲーション OSD を表示します。
	ナビゲーション OSD 表示時		ナビゲーション OSD を終了します。 （長押しするとモニターがオフになります。）
	◀	**ナビゲーション OSD 非表示時**	ヘッドホン端子またはライン出力端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		ナビゲーション OSD 表示時	**[入力]** に移動し、画面に表示する入力端子を選択します。
	▶	**ナビゲーション OSD 非表示時**	ヘッドホン端子またはライン出力端子に接続した音声機器の音量を調節します。
		ナビゲーション OSD 表示時	**[Menu]** に移動し、モニターの各種設定を行います。
	▲	**ナビゲーション OSD 非表示時**	ナビゲーション OSD を表示します。
		ナビゲーション OSD 表示時	モニターをオフにします。
	▼	**ナビゲーション OSD 非表示時**	ナビゲーション OSD を表示します。
		ナビゲーション OSD 表示時	**[ゲーミングモード]** に移動し、ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。

ナビゲーション OSD の機能



メインメニュー	説明
Menu	設定メニューを表示します。
ゲーム	ゲームに適したモードに素早く切り替えることができます。
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターがオフになります。
終了	メインメニューを終了します。

ユーザー設定

OSD メニュー

1 ナビゲーション OSD は モニター底面にある OSD ジョイスティックを押します。
2 OSD ジョイスティックを右 (►) に倒して、[Menu] を選択すると、 OSD メニューが表示されます。
3 OSD ジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
4 目的の設定項目上で OSD ジョイスティックを押すと設定項目の表示や決定ができます。
5 OSD メニューを終了させる場合は、OSD ジョイスティックを左 (◄) に数回 (OSD メニューの階層により ます) 倒します。

• OSD メニューの右下に OSD ジョイスティックの操作方法が表示されます。


クイック設定


入力


画質


全般

[クイック設定] の設定メニュー

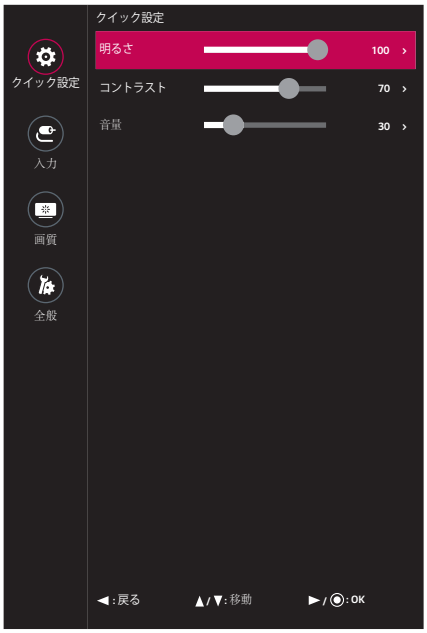
Menu		説明
クイック設定	**20 ページ**	比較的変更することの多い基本的な設定項目です。 **[明るさ] / [コントラスト] / [音量]**
入力	**20 ページ**	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。 **[入力選択]/[アスペクト比]/[自動入力切替]**
画質	**20 ページ**	ピクチャーモードの選択や細かい色合いの設定、ゲームやパネルのパフォーマンスに関する設定など、画質や機能に関する詳細な調整ができる設定項目です。 **[ピクチャーモード] / [画質調整] / [ゲーム機能設定] / [カラー調整] / [ピクチャーモード初期化]**
全般	**20 ページ**	画面の表示に関する設定以外のモニターの基本的な設定項目です。 **[言語] / [SMART ENERGY SAVING] / [電源 LED] / [自動スタンバイ] / [HDMI 互換モード] / [DisplayPort 1.2] / [USB クイック充電] / [OSD ロック] /[リセット]**

注意

• 実際のモニターの OSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

クイック設定

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右 (▶) に倒して OSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと **[クイック設定]** のメニューにカーソルが移動します。
4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) で選択します。
5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
6 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[クイック設定] の設定メニュー

Menu > クイック設定	説明
明るさ	画面の明るさとコントラストを調整します。（ピクチャーモードが **[ユーザー設定]**、**[ユーザー設定 (ゲーム)]** 以外に設定されているとき、**[PBP]** が有効のときは **[コントラスト]** の調整は出来ません。）
コントラスト	
音量	ヘッドホン端子またはライン出力端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。 **ヒント** • 音量はメニューが非表示のときに OSD ジョイスティックを右 (◀) に倒すと大きく なり、左 (▶) に倒すと小さくなります。 • 前 (▼) に倒すとミュートのオン / オフができます。

入力

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右 (►) に倒して OSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して、**[入力]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (►) に倒すと **[入力]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) で選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[入力] の設定メニュー

Menu > 入力	説明	
入力選択	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
	全画面	映像ソースの解像度に関係なく画面全体に表示します。
	オリジナル	映像ソースのアスペクト比を保持して画面最大に表示します。
	1:1	映像ソースの解像度で表示します。
	シネマ 1	画面を 21:9 に拡大します。映像ソースのアスペクト比が 21:9 以下の場合、上下が切れて表示されます。(1080p のとき)
	シネマ 2	画面を 21:9 に拡大します。シネマ 1 で映像ソースによって字幕が切れてしまう場合、シネマ 2 の設定にすれば字幕まで表示されます。(1080p のとき)
	ヒント • 本機の推奨解像度 (2560 x 1080) で表示している場合は、**[全画面]**、**[オリジナル]**、**[1:1]** を設定 していて も、表示される映像は変わりません。 • FreeSync モードで **1:1**, **シネマ 1**, **シネマ 2** のメニューはありません。（**画質→ゲーム機能設定 → FreeSync** で、**FreeSync オン**または**オフ**を設定するができます。）	
自動入力切替	**[オン]** に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に新しい入力端子に切り替わります。	

画質

1 OSD ジョイスティックを押して、ナビゲーション OSD を表示します。
2 OSD ジョイスティックを右 (►) に倒して OSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して、**[画質]** を選択します。
4 OSD ジョイスティックを押すか、右 (►) に倒すと **[画質]** のメニューにカーソルが移動します。
5 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) で選択します。
6 OSD ジョイスティックを押すか、右 (►) に倒すと設定項目が表示されます。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◄) に倒します。
7 OSD ジョイスティックを前後または左右に倒して設定を行います。



[画質] の設定メニュー

Menu > 画質	説明	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]** で設定した色合いを表示します。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。 より明るく見やすい画質にしたい場合には、OSD メニューで **[明るさ]** の調節ができます。
	フォト	写真の閲覧に適した画質を表示します。
	シネマ	動画の閲覧に適した画質を表示します。
	色覚調整	P 型及び D 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。
	FPS モード 1	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	FPS モード 2	ブラックスタビラーザーの値が **[FPS モード 1]** より強く設定されています。画面が暗い FPS ゲームに最適化されたモードです。
	RTS モード	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	ユーザー設定（ゲーム）	**[ゲーム機能設定]** の設定を適用するモードです。

注意

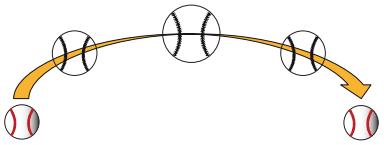
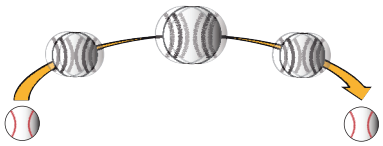
- DisplayPort 入力の映像を表示してるときにピクチャーモードを変更した場合、画面がちらついたり、OS の解像度に影響することがあります。

ヒント

- ピクチャーモードの設定によって、FreeSync と 1ms Motion Blur Reduction の OSD メニューが無効になります。ただし、（**FPS モード 1、FPS モード 2、RTS モード**）以下のアクションが内部的に実行されます。

ピクチャーモード	FreeSync	1ms Motion Blur Reduction
FPS モード 1	オフ	オン
FPS モード 2	オン	オフ
RTS モード	オン	オフ

<table>
<tr><th>Menu > 画質</th><th colspan="3">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="15">画像調整</td><td>明るさ</td><td colspan="2">画面の明るさを調整します。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td colspan="2">画面のコントラストを調整します。</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td colspan="2">画面のシャープさを調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">SUPER RESOLUTION+</td><td>High</td><td>最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。
高品質な動画やゲームにも効果的です。</td></tr>
<tr><td>Middle</td><td>[High] と [Low] の中間レベルに超解像をかけ画質を最適化します。SD 画質の動画再生時などに適しています。</td></tr>
<tr><td>Low</td><td>滑らかで自然な画質に最適化して表示します。動きの少ない動画や静止画像に効果的です。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>最も一般的な設定で表示します。SUPER RESOLUTION+ を無効にします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒント
• この機能は解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常のテキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎて、かえって見づらくなる場合があります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ブラックレベル</td><td colspan="2">モニターで表示できるもっとも暗い色のレベルを調整します。
(HDMI 接続のみ)</td></tr>
<tr><td>High</td><td>映像信号の情報をそのまま表示します。</td></tr>
<tr><td>Low</td><td>暗い部分が暗くなり、シャープな色合いで表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DFC</td><td>オン</td><td>明るさとコントラストを画面に合わせて自動的に調整します。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>[DFC] 機能を無効にします。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ゲーム機能設定</td><td rowspan="5">応答速度</td><td colspan="2">パネルスペックの応答速度から、オーバードライブ回路で応答速度を高速化させます。
標準的な環境の場合、[普通] を使用することをお勧めします。
動きの速い映像を表示させるときは [速い] を使用することをお勧めします。
[速い] に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。</td></tr>
<tr><td>速い</td><td>パネルの応答速度を高速にします。</td></tr>
<tr><td>普通</td><td>パネルの応答速度をやや速くします。</td></tr>
<tr><td>遅い</td><td>パネルの応答速度を少し速くします。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>オーバードライブをオフにして、パネルの基本速度になります。</td></tr>
<tr><td>FreeSync</td><td colspan="2">AMD FreeSync ™テクノロジー は、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。
フレームレートが一定でない映像 (ゲームなど) を表示したときに発生するティアリング (ちらつき) やスタッタリング (カクつき) を抑えることができます。(DisplayPort 接続のみ)
ヒント
• この機能を使用するためには、対応 APU を搭載した PC またはGPU を搭載した グラフィックカードが必要です。
• DisplayPort 接続のみ対応できます。
• 詳細な情報は、AMD 社の公式サイトをご覧ください。(検索エンジンで「FreeSync」で検索して AMD 社の公式サイトを参照してください。)
• FreeSync と 1ms Motion Blur Reduction は同時に有効することができません。</td></tr>
<tr><td>オン</td><td>[FreeSync] 機能を有効にします。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>[FreeSync] 機能を無効にします。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>Menu > 画質</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="4">ゲーム機能設定</td><td>ブラック
スタビライザー</td><td colspan="2">見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。
高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らすと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1ms Motion Blur Reduction</td><td>オン</td><td>この機能は動きの速い動画を再生したときに発生する " モーションブラー (ブレ)" を最小限に抑える機能です。
この機能を有効にする前に OS 上で解像度を 2560×1080、リフレッシュレートを 144Hz に設定することをお勧めします。

この機能リフレッシュレートが 60Hz、100Hz、120Hz、144Hz で使用可能です。</td></tr>
<tr><td>オフ</td><td>1ms Motion Blur Reduction をオフにします。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">ヒント
• この機能は、動画のブレを軽減するために、バックライトを制御するため、輝度が低下します。
• 1ms Motion Blur Reduction と FreeSync 機能は、同時に使用できません。</td></tr>
<tr><td>クロスヘア</td><td colspan="2">FPS(First Person Shooting) ゲームのプレイ用に、画面中央にクロスヘア (十字マーク) を表示します。クロスヘアはゲームタイトルに応じて適したデザインを 4 種類から選択できます。
• モニターがオフまたは省電力モードになると、クロスヘア機能は自動的にオフになります。</td></tr>
</table>

Menu > 画質	説明		
カラー調整	**ガンマ**	ガンマ値を補正します。**[ガンマ 0]** に設定すると中間色が明るく、**[ガンマ 2]** に設定すると中間色を暗く表示します。標準値は **[ガンマ 1]** です。	
	色温度	**ユーザー設定**	**[赤][緑][青]** で設定した色合いで表示します。
		Warm[暖色]	画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。
		Medium[中間]	画面の色温度を中間に設定します。
		Cool[寒色]	画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。
	赤	RGB 各色の強弱を手動で設定します。	
	緑		
	青		
	6 色相環	6 色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄）の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると色味を失いグレーに近い色合いになります。
ピクチャー モード初期化	画像をデフォルト設定に返します。		

全般

1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
2 OSD ジョイスティックを右 (►) に倒して OSD メニューを表示します。
3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して **[全般]** のアイコンを選択し、右 (►) に倒すと **[全般]** のメニューにカーソルが移動します。
4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して選択します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◄) に倒します。
5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (►) に倒すと設定項目が表示されます。
6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができたら OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



[全般] の設定メニュー

Menu > 全般	説明	
言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
SMART ENERGY SAVING	輝度補正アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。	
	High	**SMART ENERGY SAVING** を有効にして、 より効果的に消費電力を抑えます。
	Low	**SMART ENERGY SAVING** を有効にして、 消費電力を抑えます。
	オフ	**SMART ENERGY SAVING** を無効にします。
電源 LED	OSD ジョイスティック上の電源ランプの**オン** / **オフ**を切り替えます。	
	オン	電源 LED が自動でオンになります。
	オフ	電源 LED がオフになります。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
自動スタンバイ	一定の時間が経過したときに、モニターを自動的に待機状態にします。待機するまでの時間を設定します（**[オフ]**、**[4 時間後]**、**[6 時間後]**、**[8 時間後]**）。	
HDMI 互換モード	HDMI 互換モード機能は HDMI 2.0 をサポートしていない従来の機器を認識することができます。	
	オン	**[HDMI 互換モード]** を有効にする。
	オフ	**[HDMI 互換モード]** を無効にする。
	ヒント • 接続されたデバイスは **[HDMI 互換モード]** をサポートしない場合、画面または音声は正常に動作できない可能性があります。	
DisplayPort 1.2	**DisplayPort 1.2** を有効または無効にします。 **ヒント** • DisplayPort 入力端子に DisplayPort ™ v1.2 を適用するかを設定します。グラフィックカード がバージョン 1.2 に対応していない場合は、**[使用しない]** に設定してくだい。 • DisplayPort1.2 が無効の時は、DisplayPort 端子のバージョンは v1.1 になります。FreeSync がオンのときは、この設定は無効になります。	

Menu > 全般	説明	
USB クイック充電	オンにすると、USB ダウンストリーム端子に接続されているデバイスをすばやく充電することができます。	
	オン	**[USB クイック充電]** を有効にします。
	オフ	**[USB クイック充電]** を無効にします。
	ヒント • **[USB クイック充電]** が **[オン]** に設定されている場合、USB ダウンストリーム端子によるデータ転送は利用できません（キーボード、マウス、またはその他の USB ストレージデバイスをモニターに接続している場合など）。	
OSD ロック	OSD の設定可能な項目を制限します。	
	オン	設定可能な項目を制限します。 **[オン]** にしても設定が可能な項目は以下の通りです。 **[クイック設定]** > [**明るさ]** / **[コントラスト]** / **[音量]** / **[入力]** **[全般]** > **[OSD ロック]** 上記以外の項目を設定するときは、**[OSD ロック]** をオフにしてください。
	オフ	**OSD ロック**を無効にします。
リセット	**設定をリセットしますか？**	
	No	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。
	Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。

困ったとき

画面に何も表示されない。	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 • モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源をオンにして、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。 • 画面の設定が暗くなっている可能性があります。OSD メニューで明るさ、 コントラストを調整してみてください
電源ランプが点滅している	• PC がスリープモードになっている可能性があります。マウス を動かすか、 キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除させてください。 • PC の電源が入っているか確認してください。
画面に**「範囲超過」** と表示される	• PC（グラフィック カード）から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力される OS の解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合に表示されます。 • 本説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
画面に**「信号が見つかりません」**と表示される	• 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 • 入力端子が正しく選択されていない可能性があります。OSD ジョイスティックを押してから左に倒して **[入力]** を選択して映像が出力されている端子になっているかを確認してください。
DisplayPort 接続で映像が正しく表示されない	• **[DisplayPort1.2]** の設定が **[オン]** になっている場合、DisplayPort1.1 以前のバージョンの機器を接続すると、映像が正常に表示できない場合があります。**[全般]**>**[DisplayPort1.2]** の設定を **[オフ]** にしてください。各接続機器の DisplayPort のバージョンについては、機器の製造メーカーにお問い合わせください。

一部の OSD メニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	• OSD がロックされています。**[Menu]** > **[全般]** の順に選択し、**[OSD ロック]** を **[オフ]** に設定します。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	• 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 • モニターの映像がを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される。	
画面がちらつく	• 選択した解像度が HDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。 解像度を 1080P または推奨解像度に変更してください。

ヒント

- **垂直周波数：**映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。 1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位は Hz です。
- **水平周波数：**横線 1 本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。 1 秒間で表示される横線の数は、1 を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位は kHz です。

ヒント

- OS 上で **[コントロール パネル]** > **[画面]** > **[設定]** の順に選択して、グラフィック カードの解像度または周波数がモニターの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される（最適な）解像度に設定してください。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、 表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティング システムによって異なる場合があります。 また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PC やグラフィックカードによっては、解像度 2560 x 1080 をサポートしていない場合があります。 この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PC またはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

表示色が適切に表示されない。	
色が正常に表示されない	• 信号ケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してください。 ※ グラフィックカードの確認をする際は必ず PC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • [コントロールパネル] ▶ [画面] ▶ [設定] (OS によって異なります) から、OS 上の表示色を 24bit または 32bit の True Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく 小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見えることがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器に音声が出力されない	• ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。 • OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。(19 ページまたは 21 ページ) • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。 Microsoft Windows で **[コントロールパネル]** > **[ハードウェアとサウンド]** > **[サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。 • Windows や PC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してください。

仕様

LCD 画面	タイプ	フラット パネル アクティブ マトリクス型 アクティブ マトリクス駆動 TFT LED LCD アンチグレア コーティング	
	カラー階調	HDMI	約 1,677 万色
		DP （DisplayPort）	約 1,677 万色
	ピクセルピッチ	0.312 mm x 0.310 mm	
解像度	最大解像度	2560 x 1080 @ 144 Hz	
	推奨解像度	2560 x 1080 @ 60 Hz	
映像信号	水平周波数	30 kHz ～ 164 kHz	
	垂直周波数	56 Hz ～ 144 Hz	
	同期	セパレート同期	
出入力端子	HDMI IN 1/2, DP (DisplayPort) IN, USB UP, USB (SS) 1/2, H/P OUT, LINE OUT		
電源	電源定格	19 V ⎓ 3.4 A	
	消費電力（標準）	オンモード：45 W 標準（ENERGY STAR® 標準）* 49 W 標準（標準、USB 非接続）（出荷時の状態）** オフモード ≤ 0.3 W	
AC/DC アダプタ	タイプ DA-65G19（Asian Power Devices Inc. 製） または タイプ LCAP39（LIEN CHANG ELECTRONIC ENTERPRISE 製） 出力：19 V ⎓ 3.42 A		
環境条件	動作条件	温度	0 ～ 40 ° C
		湿度	80% 以下
	保管条件	温度	-20 ～ 60 ° C
		湿度	85 % 以下
寸法	モニターサイズ（幅 x 高さ x 奥行）		
	スタンド装着時 (mm)	830.5 x 449.5 x 279.7	
	スタンドなし (mm)	830.5 x 370.3 x 75.5	
重量（パッケージを除く）	スタンド装着時 (kg)	8.6	
	スタンドなし (kg)	6.4	

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。
* 消費電力は操作条件や設定等によって変わります。
* オンモードの電力消費量は、ENERGY STAR® テスト標準に準じて測定されます。
** オンモードの電力消費は、LGE 試験規格（最大解像度で、白を画面全体に出力した状態）で測定されます。

工場サポートモード

(プリセットモード、HDMI/ DisplayPort PC)

表示モード（解像度）	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
1024 x 768	48.363	60.0	-/-	
1024 x 768	97.551	119.989	+/-	
1152 x 864	109.756	119.952	+/-	
1280 x 720	91.493	119.912	+/-	
1280 x 1024	130.035	119.958	+/-	
1920 x 1080	83.894	74.973	+/-	
1920 x 1080	113.221	99.930	+/-	
1920 x 1080	137.26	119.98	+/-	
2560 x 1080	68.93	59.94	+/-	
2560 x 1080	86.79	74.94	+/-	
2560 x 1080	113.24	99.94	+/-	
2560 x 1080	135.60	120	+/-	
2560 x 1080	162.72	144	+/-	

HDMI タイミング（映像）

初期設定 (工場出荷時の設定)	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	備考
480p	31.47	60	
576p	31.25	50	
720p	45	60	
720p	37.5	50	
1080i	28.125	50	
1080i	33.75	60	
1080p	67.5	60	
1080p	56.25	50	
1080p	56.25	60	2560 x 1080p
1080p	66	50	2560 x 1080p

電源 LED

モード	LED の色
オン モード	白色点灯（数秒間）
スリープ モード (待機モード)	ホワイト点滅
オフ モード	オフ



製品のモデルとシリアルナンバーは製品の背面と側面にあります。サービスの場合に必要があるからそれらを記録してください。

モデル _____

シリアル _____

本製品に搭載された GPL、LGPL、MPL およびその他のオープンソースライセンスの下で開発されたソースコードを取得するには http://opensource.lge.com を参照してください。
ソースコードに加えて、すべての参照許可の条件、保証の免責事項と著作権通知をダウンロードできます。